M150426　『心がうちに燃えるとは』　ルカ 24：13～35　　学びシート

名前　　□添削希望

１、空欄に言葉を入れてください。

25 するとイエスは言われた。「ああ、愚かな人たち。預言者たちの言ったすべてを信じない、心の鈍い人たち。キリストは、必ず、そのような［　　］を受けて、それから、彼の［　　］に入るはずではなかったのですか。」それから、イエスは、モーセおよびすべての預言者から始めて、［　　］の中で、ご自分について書いてある事がらを彼らに説き明かされた。彼らは目的の村に近づいたが、イエスはまだ先へ行きそうなご様子であった。それで、彼らが、「いっしょにお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もおおかた傾きましたから」と言って［　　］ので、イエスは彼らといっしょに泊まるために中に入られた。 彼らとともに食卓に着かれると、イエスはパンを取って祝福し、裂いて彼らに渡された。それで、彼らの［　　］、イエスだとわかった。するとイエスは、彼らには［　　］。そこでふたりは話し合った。「道々お話しになっている間も、聖書を説明してくださった間も、私たちの心は［　　］ではないか。」すぐさまふたりは立って、エルサレムに［　　］みると、十一使徒とその仲間が集まって、「ほんとうによみがえって、シモンにお姿を現された」と言っていた。彼らも、道であったいろいろなことや、［　　］にイエスだとわかった次第を話した。

２、クレオパともう一人の弟子は、いつ、どこからどこへ向かって、どんな感じて、歩いていましたか。

【いつ】

【どこからどこへ向かって】

【どんな感じで】

３、最初、ふたりの弟子の目はどうして遮られていたのでしょうか。

４、目的の村に着いた時、ふたりの弟子たちは、イエスさまに対して何を願いましたか。

５、どのようにして、ふたりの目は開かれ、一緒にいる方がイエスだと分かりましたか。

６、「心がうちに燃える」とは、どういうことでしょうか。

７、ふたりは、どこへ戻って行きましたか。